

# 2025年度 第4回 AM ライン幹事研究会 かわら版

2025/10/29

3班  
若山

(目的) ライン幹事研究会企業訪問によるトピックスを記録に残すとともに、幹事と共有し、自社、自職場で横展したいものは横展する。

日時：25年10月29日（火） 9：00～11：30	訪問先： トヨタ車体(株) 富士松工場	参考：トヨタ自動車のバン事業を担い、クルマづくりを企画・開発・生産まで一気通貫で推進。 初代社長：豊田喜一郎 1951年（昭和26年）トラック製造から始まり、主にミニバン、SUVを生産
参加者：岩田副世話人、若山幹事、笥幹事、神谷幹事、小林幹事、手島幹事、吉田幹事、小倉幹事、市川幹事、花井幹事、浅野幹事、恩澤幹事、山本幹事、井上幹事、		

## 〔説明内容〕

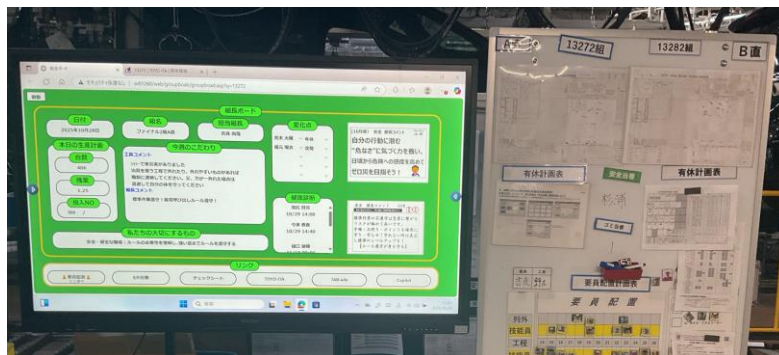
- ・会社概要  
クルマを生み出す会社。  
それがトヨタ車体。
- ・製品品目  
ミニバン、SUV、福祉車両  
特装車、コムス、等々
- ・SDG s への貢献 <塗装工程>  
環境にやさしい水性塗料  
を使用している。



## 〔組長ボードの電子化導入や無人運搬台車(EUEオート)の導入〕

タッチスライドできるモニタを各職場に設置 ※写真左側

無人運搬台車



## 〔学んだ事〕 良かった点・気付いた点（箇条書き）

- ・QCサークル数(富士松工場258/全体749サークル 2024年時点)、発表会を開催 1回/年
- ・三位一体活動(事務局・サークル・世話人による情報共有会)、三位一体活動では、見ることに褒めることを大事にしている。コロナ過でも活動を停滞させなかった。流石！
- ・工場一斉会合の日を設定(各工場が生産計画の中に入れて実施/工務部が設定)している
- ・個人QCレベルが人事制度での評価に繋がっている。人材育成の繋がりの高さを感じた。
- ・基幹職、幹部職による” 激励関心の日 ”を設定し、活動が低調なサークルにはフォロー
- ・SK(職場活性化)活動を実施。楽しくやる(各組でオリジナルTシャツを作成、意欲向上)
- ・職場イノベーション活動や工場外周美化活動が推進され、工場の屋内外がとてもきれい
- ・ラインには女性はもちろん、身体的な障害のある方も働ける職場環境づくりをしている
- ・工場内にて、引きドアには「はさまん手」など、細かい所まで、安全対策がされている

